

組合基本方針

組合の団結と調和

使用電力規制の対応について

6月3日に資源エネルギー庁開催の説明会があり、3月11日に発生した東日本大震災の影響により東京電力及び東北電力管内の供給電力が大幅に減少し大きな需給ギャップが生じたことから、政府が平成23年6月に電力使用制限を電気事業法27条に基づき、契約電力500kW以上の大口需要家を対象に昨年夏の最大電力から15%削減を義務付け、故意に超過した場合は罰金の対象になることなどの説明を受けました。

当組合では、共同受電を行なっている関係から契約電力500kW以上の大口需要家であり、電力規制の対象となる。そのため、規制が行なわれる可能性があるとの情報を得て5月の全体会議よりどのように使用電力を削減するかの検討を実施しました。

共同受電では、契約電力である最大電力が全社同じ時間帯で発生していないため15%を各社電力抑制しても、全体で15%の電力抑制とならないことから、数度検討を行なっていただきました。結果、全社公平にはならず無理をお願いしての輪番休業により対応をすることになり週2日休み+電力抑制、週1日休み+電力抑制で、夜間操業、発電機の導入をしていただき、7月1日より対応をしていただきました。

7月 2,097kW

8月 2,208kW

9月 2,059kW

と規制値よりかなり低い数値で済むことができました。

組合員企業に大変な協力をしていただき、達成をすることができた数値であります。

電力規制は、9月9日までと早期に終了していますが、取引先が輪番休業を継続、生産量を確保するために輪番休業を継続、輪番休業から元に戻すために土、日曜日で交替勤務をするなど、直ぐに元通りの操業に戻すことも難しい状況でした。

東京電力及び東北電力管内の供給電力については、今冬、来夏も不足するとの報道もあり、一日も早く正常化になることを望みますが、これからも日々節電の協力を行なって参ります。

年度方針

組合運営再確認

後継者の育成

経営革新に取組み発展基盤を強化

連携組織活性化研究会 レポート



明治大学 政治経済学部森下 正教授をお迎えして、連携組織活性化研究会というテーマでお話しを2回にわたって伺いました。

日本全国に多くの工業団地や連携組織は存在しますが、連携がうまくいって大きく業績を上げている組織も少ないようです。

そんな中でも、大きく業績を上げている組織に共通していることは、共同事業が共同開発にまで発展し、その過程で危機意識や組織管理、市場戦略といったものまで共有することで、小さな1社では成し得ない成果を上げている点です。

長野県佐久の共同組織では、そこに任せれば、あらゆる面倒がなく、信頼のおける製品を回収できる。というメーカーからの絶対の信頼を勝ち得た事で、潤沢な収益を共同組織内で循環し、最新の設備や人材などを勝ち組のスパイラルで得る事が出来ている。異業種である企業が、そこに至るまでの組織としてのまとめりやシステムを作るには幾重にも障害があったと思われるが、それを乗り越えたことで勝ち組のスパイラルを手に入れた。

現在、流山工業団地において、そのような共同開発を想像することは難しいが、これからの日本の社会を考えた時、工業団地という立地を生かし、外部に対して売りとして提示できるような何かを共同で持つことができたならば、それは工業団地に立地する一つの魅力となると思います。

これからの日本でも期待の持てそうな、ロボット産業やクリーンエネルギー産業等に関して、皆さん御縁はありませんか。

(有)長浦製作所 長浦 謙太郎

流山産業博 2011

9月19日(月) 流山市生涯学習センターを中心として『つむぎ つなげて 大きな輪に』をテーマに流山産業博が開催されました。

流山市内最大の100店舗以上の出展が決定し、活気あふれる専門店、市内の商工業者が一同に参加、飲食販売・商品販売・商品の展示PRが行われました。

今回のメインイベントとしましては『お絵描きミュージカル お絵描きサーカス団』が流山産業博向けにスペシャルイベントを開催。真っ白なキャンパスの舞台から不思議なサーカス団が歌いながら踊りながらどんどん絵が増えていく。会場の子供たちのひとつで絵が完成斬新なイベントにて会場を盛り上げました。

今年はとても天候にも恵まれ、メイン広場が人だかりになるほどの沢山の方々にご来場頂きました。流山地元企業の技術や製品・商店・飲食店が地域の皆様とのふれあいの場となり、今後の流山近隣地域の活性化に繋がればと感じました。

流山工業団地 青年部におきましては、工業団地各社の企業PRのパネル展示に加え、スーパーボールのつかみ取りにて被災地への募金を募り、来場者の方々のご協力のもと合計金額4,710円の募金を頂きまして、その募金に290円を加え、金5,000円を流山産業博実行委員会へ義援金として寄付致しました。募金にご協力して下さいました皆様、本当に有難うございました。

(株)スイコー 小溝 陽介



暑 気 払 い

7月25日に流山市内の「そば懐石 あずみ野」にて定例全体会を行い、続いて暑気払いが行われました。今年は3月11日の震災や原発問題、電力使用の輪番など企業への負担も大きな環境下ではありましたが、日本を元気にとの思いもあり、自粛せずに開催いたしました。今回会場となった「あずみ野」さんは大通りから少し住宅地に入り込んだ立地で、緑の木々に囲まれた民家のように、ゆっくりとくつろげるようなお店でした。

はじめに高橋理事長にご挨拶をいただいた後、菊地副理事長の乾杯のご発声で開始となりました。

震災以降、日本全国で様々なイベントが自粛されてきましたが、この暑気払いは久しぶりに団地組合員のお酒を交えた交流の場となり、大きな声で皆が和気あいあいと語りあえた楽しく有意義な時間となりました。我々の元気が震災復興の一助となる、特に今年はそんな思いを持って行われた暑気払いでした。

(株)ユーワ 伊東 秀幸



理事長を囲む会

青年部恒例の理事長を囲む会を、7月9日に茨城県のザ・インペリアルCCでゴルフコンペを開催しました。好天に恵まれた暑い中、高橋理事長と熊本理事にもご参加いただき、楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。

第2部は懇談会。理事長、熊本理事を交え組合のこと、仕事のこと等々、真剣に激論を交わし……たりはせず、和やかに酒を酌み交わしながら、楽しい時間を過ごしました。このような交流を数多く重ねていくことは、組合のそして青年部の絆を深めることになると思います。

高橋理事長、熊本理事におかれましては、お忙しい中、1日お付き合いただきありがとうございました。また来年もよろしくおねがいいたします。

最後になりましたが、コンペの優勝は菊地君、準優勝は小溝君でした。私はまたまた戦力外 来年こそは……(泣)

栄光産業(株) 岩佐 大介



野田・柏・流山青年部交流ゴルフコンペ

去る平成23年9月25日(日)にザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎にて開催された柏・野田・流山三団地交流ゴルフコンペにお誘いいただき、参加させていただきました。

首都圏を直撃した台風15号が過ぎ去った清々しい秋空の下、絶好のゴルフ日和でのプレイとなりました。

当日は野田から8名、柏から7名、そして流山から8名、私含め総勢24名の6組のパーティで、個人戦は新ペリア方式・団体戦は各団地上位4名のグロススコア合計で争われました。

たいへん和気あいあいとした雰囲気の中にも、真剣な気迫のこもったプレイもあり、日頃地域経済を支えている三団地の皆様の底力を目の当たりにした思いがいたしました。

流山工業団地は総合力を発揮し、団体戦優勝を飾られ、今回幹事組合の面目躍如はお見事でした。私個人のスコアは惨憺たるものでしたが、一日楽しく過ごさせていただきました。

「次回参加はご遠慮ください」と言われぬように、練習に励みたいと思います……今回はたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

(株)商工組合中央金庫 松戸支店
支店長 関原 裕之



千葉県 森田知事の訪問

去る7月19日(火)雨の降る中を千葉県 森田知事を始め5名の方々が工場見学のため当流山工業団地にお越しいただきました。

今回森田知事は、商工会議所の企業訪問の事業でキッコーマン醤油作り館、野田工業団地(協)にあります三井電気精機(株)、当組合にあります(株)マルタカの3箇所を見学されました。

当組合では、先ず工業団地がどのように作られたかの経緯の説明を(株)マルタカ 高橋社長、遠藤副社長、商工会議所 大橋会頭、上坂専務理事、組合 長橋事務局長から行なわせていただきました。

続いて、(株)マルタカの工場見学を行ない、印刷、スリッター、製袋の各工場での作業内容の説明が高橋社長から行なわれ、特に袋に加工する機械については、仕組みについて説明が行なわれました。

見学終了後、応接室にて森田知事から高橋社長に、中小企業に元気がないと千葉県が元気になるいので是非頑張ってくださいとのエールが送られました。



== 事務局だより (今後の主な予定) ==

- 10月27日(木) 一般健康診断
- 11月8日(火) 千葉県商工会議所連合会 研修会
- 11月17日(木) 中央会全国大会 愛知大会
- 11月25日(金) 産学官交流シンポジウム 協力
- 11月26日(土) 組合ゴルフコンペ 秋大会
- 12月 外国人実習生 来日予定

編集後記

暑い夏も終わりを告げ、さわやかな秋空が広がる心地よい季節になってきました。

しかし、周りを見渡すと、震災の復興は遅々として進まずといった印象。景気の足取りは重く、世界に目を向ければ、欧州の金融不安、アメリカでは経済格差の解消を訴える抗議デモ、タイでは洪水。どうなってしまうのだろうかと思うことが多すぎです。

でも、私なんかはどうすることもできないわけではないので、目の前の仕事をこなしながら、ひたすら前進あるのみ。できることをやるだけです。

冬に向けて、またまた電力不足になるとかならないとか・・・不安の種はつきませんが戦後の復興を成し遂げた日本人なら必ず乗り越えられるでしょう

頑張ろう日本

頑張ろう流山工業団地

岩佐 大介

流山工業団地協同組合

編集・発行：青年部

〒270-0107 流山市西深井1028-46

電話 04(7153)3001